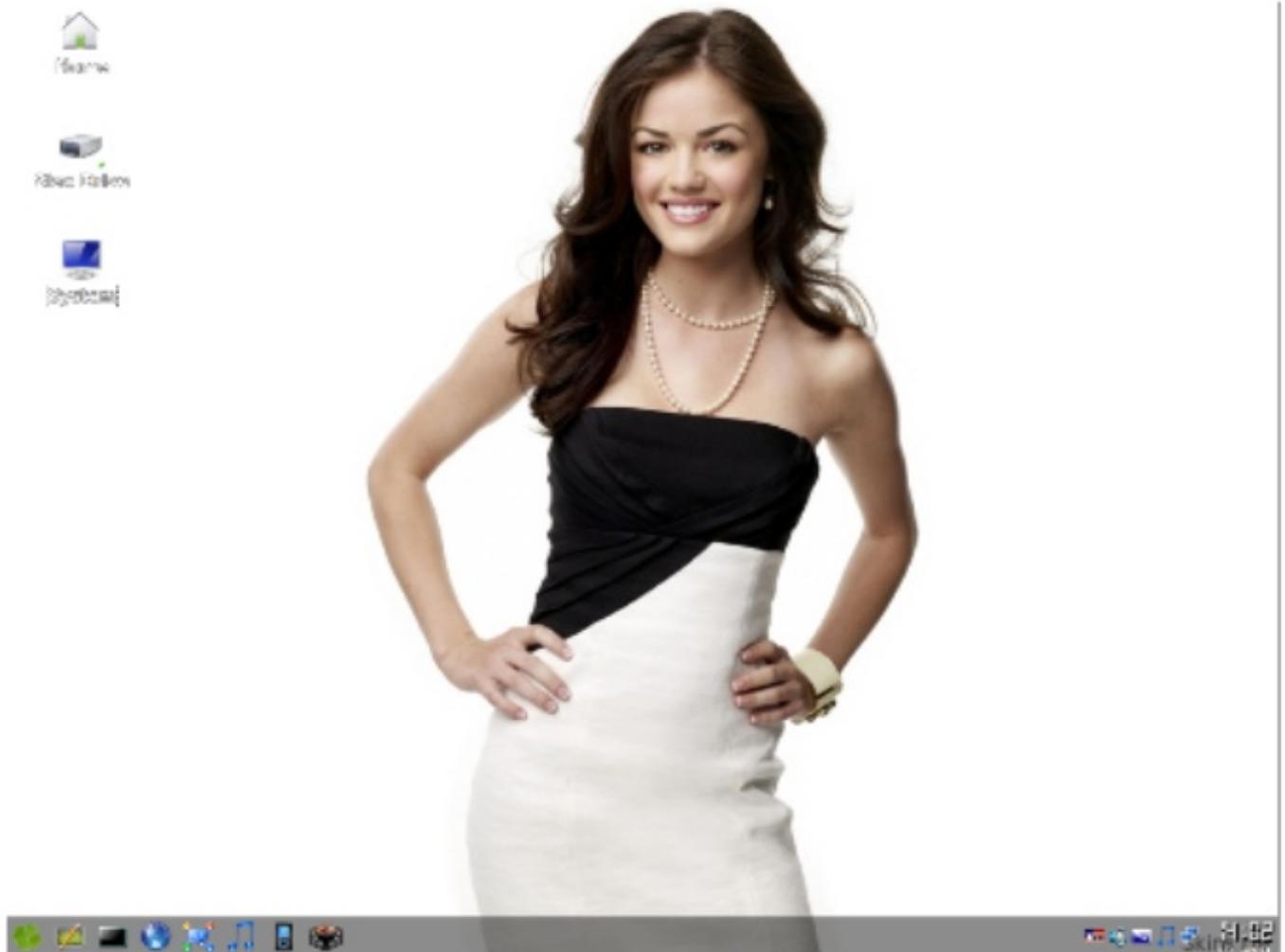


cool-da

だってクールだ 英語でボーカル

eigo-vocal



<http://free-celebrities-wallpaper.blogspot.com/2010/11/hollywood-singer-celebrities-lucy-hale.html>

# eigo=vocal

日本人同士で会話をする時は、サークルにでも入っていない限り、日本語で、ということになります。

たとえ、同じアメリカの大学に通った者同士でも、普通は日本語を使います。なので、苦労の末獲得した英語の発音力は、どんどん下降します。

そこで、一人でも楽しく練習できる方法をご紹介します。

英語の歌を使っでの練習です。

ポピュラーソングを歌う方法は、元々外国から来たので、英語で歌えば、とっても豪華に聞こえます。

実際、英語で歌える曲があると、きっと役に立つことがあるでしょう。

そして、何より、発音は劇的な変貌を遂げることになります。

自分がちゃんと発音できれば、相手が何を言っているのかは、すぐ分かるようになります。

練習の順序は、

1. 発音の練習を行います。

これは、IPA(international phonetic alphabet)を使い、

口の中での舌の位置などを、具体的にしっかり練習します。

2. 音楽の発声練習を行います。

最初は、アーとかウーで練習です。

3. 歌詞に登場する単語の発音をすべてチェックします。

4. 参考にする歌唱を聞きます。

5. 例に合わせて練習です。

普通のアルファベットでは、

---



普通のアルファベットでは、それを見て、

どう発音していいのかわからない場合が少なくありません。

IPAは、この問題の解決のために、110年ほど前から開発が始まった、  
いわゆる発音記号の親玉です。

英語の単語は、1ヶ以上の文字で構成されていますが、

普通のアルファベットは、かなり大雑把で、'a'は、'ア'なのか、'エイ'なのか、

それともカエルのひしゃげた'ア'と'エ'の中間なのか、判然としません。

IPAは、アルファベットを40ほどのシンボルに分配し、どう発音するかの具体的な方法  
を示します。

普通、発音記号のところまでは、手が回らず、キッチリ利用している方は、まれです。

今回は、英語の歌に挑戦するので、まじめに挑戦です。

発音が美しければ、美しいほど、断然上手に聞こえ、

自分で聴いても、楽しさ倍増間違い無しです。

それでは、さっそく始めます。

## ステージ1 無声音の練習その1。

---



無声音は、

1. 単体では殆ど音が出ない。
2. 次にくる文字の音を出すべく、口の中の舌の位置などを変更すると、その刹那、音が出る。
3. IPAには、全部で9つの無声音があります。

ここでは、

/p/

/t/

/k/

の3種類を練習します。

IPAのアルファベットは、'p'と'P'で囲み、通常のアルファベットと区別します。

無声音/p/の練習。

1. 空気を吸う時、お腹を膨らませます。  
空気を排出する時、お腹をさらに膨らませます。  
結果、お腹に少し力が入ります。
2. 唇を軽く結ぶ。  
また、息を出す時、鼻から抜かないようにします。
3. これで、お腹をグッと押し出すように空気を押し出します。  
結果、ほっぺが膨らむかもしれません。  
'ピー'のような音を出そうとしても、'ブー'みたいな音が漏れ出る事でしょう。  
声帯を震わせるという気持ちを持たなければ、  
風の音だけが漏れて聞こえるでしょう。

これで、無声音/p/の発音の型は完成しました。

単語'pet'を発音してみる。

---



発音の練習なのに音を出さないのでは、まるで禅問答、  
なので、少し先を試します。

/e/は母音なので、有声音です。

それで、'エ'みたいな発音をしようと思い、  
舌の位置を、少し前方に移動させようとしたその刹那、  
音が飛び出してくることでしょう。

/p/で作った唇の形が、/e/を出すために開放された結果、  
音が出るのでした。

次に't'を発音しますが、/t/は、無声音です。

't'を見たら、

1. 舌の先端、側面を、上の歯茎にくっつける。
2. この状態をすばやく開放して自然な位置に戻すその刹那、  
つぶやくような、風のような音が出ることでしょう。

't'のために舌の位置を変更した後、お腹の緊張を緩めないで下さい。

ただ舌の位置を通常の自然なポジションに移動します。

ここでお腹を緩めてしまうと、次の言葉が連続していきません。

話、歌がコマギレになってしまいます。

何回か練習してスムーズにできるようにします。

カタカナの'ペット'と、英語の'pet'には、相当な違いがあること、  
体感されたことでしょう。

't'を見たら、舌の先端、側面を、上の歯茎にくっつける。

これはとても大事なポイント、忘れずに。

無声音/k/の練習。

---



舌の背中を歯茎のさらに上に位置するドーム状の辺り、その比較的前の方に、収めます。

これを使って、'cow'を発音します。

cow[kau]

/k/ 舌の背を歯茎の上、固い部分、又は、ソフトな部分にはめる。

この時、音は出ない。'クックク'と笑いをこらえる時のような、音が漏れるだけです。

cow[kau]

peeking[pí:kin]

wake[wéik]

/au/ 舌の高さ 低い(Low)

舌の位置 後ろ(Back)

そこから、ミッドハイのフロントに動く。

下あごは、音が出ている時、上昇してくる。

唇は丸まっていない状態から、丸めていく。

hour[áuer]

mouth[máuθ]

plow[pláu]

最初に出てくる'キャ'のような音は、/k/の時点では決められず、次の音を出すために移動する結果として音が出るため、逆にカタカナの'カウ'をこの方法で発音するのは、難儀かと思います。

カタカナ英語の出来る外人さんってスゴイですね。

私たちも、日本語の練習をする方の悩み、

ちょっとだけ味わうことができました。

そして、英語の発音とは、口の中の運動会なのだ、

と実感できました。

以上で、ステージ1 無声音の練習その1。は終了です。

## ステージ2 有声音(子音)の練習その1。

---



/k/は、無声音で、口蓋の前方部分に、舌の背中を付けるという操作を行いました。  
この、舌と口蓋のコンビネーションを使うものが、有声音にも存在します。

これを練習します。

有声音(子音)/g/の練習。

1. 舌の操作は、/k/と同じ。
2. 声帯を振動させ、'ガッ'のような音を出します。

これを使って、

'goose'を発音します。

<http://dictionary.goo.ne.jp/leaf/ej3/36696/m0u/goose/> にてルックアップ、

発音記号は、[gú:s]となります。

/s/は無声音です。

/u/ 舌を/g/位置から、後方に高く移動させ、臼歯に接触させる。

それを少し長めにのばす。

/s/ 舌を舟底にして上の歯茎の固い部分と接触させ、この溝部分をオープン。

舌の先端は、上の歯の背後で、上がるか下がるかする。

唇の状態はコンテキストにより、変化する。

声帯は、振動させない。

咽頭は閉じられるので、音は殆ど出ない。スー。

soap[sóup]

assume[əsú:m | əsjú:m]

miss[mís]



口蓋の後部は、指で押さえてみるとブニブニした感じがする、と云います。この部分、歌を練習する際に、声に響きを与える為の重要ポイントなので、よく練習して、この部分を使う感覚を掴みます。

/ŋ/ 舌を持ち上げ、口蓋の後方のソフトな部分につける。

唇の形はコンテキストにより、変化する。声帯は、振動させる。

咽頭はオープン、鼻音を出す。

sing [sɪŋ] singer [sɪŋər] ring[rɪŋ] english[ɪŋɡlɪʃ]

では、'sing'の発音を練習してみます。

/s/ 前掲通り。

/ɪ/ 舌は、前方高め、先端は、下歯の後ろに置く。唇左右に引く、声帯から音を出す。

音は少し長めに出す。

eat[í:t] week[wí:k] tree[trí:]

日本語では舌の操作なんてあまりしないので、忙しいことと思います。じっくり練習します。

以上で、ステージ2 有声音(子音)の練習その1。は終了ですが、発音の指定の方法について、典型的な例を2つご紹介しておきます。

英語では、発音の指定をする場合、特別な記号は使わずに、文字でやっています。

1. 母音の後の子音がダブル使いになっている場合、これは、母音は短母音で発音せよ、という指定の意味を持つ。

command

2. 語尾に'e'が置いてある場合、前の方に存在する母音は長母音で発音せよの指定。

それで、この最後の'e'は発音する必要なし。

make

タケさんというお友達がおりました。この方は、LAでは、タックという名前になりました。

タケと読ませる良い方法が見つからなかったからです。

Takeとして、タケと読んでもらうのは困難です。どうしてもテイクさんになってしまうのでした

# keyboard

ピアノ鍵盤のチェック。

ピアノの音でピッチの確認をするような時のために、

[http://www.bgfl.org/bgfl/custom/resources\\_ftp/client\\_ftp/ks2/music/piano/](http://www.bgfl.org/bgfl/custom/resources_ftp/client_ftp/ks2/music/piano/)

にアクセス、キーボードをクリックして音が出るか確認して下さい。

# woohs

最初は、いきなり歌詞ではなく、定石通り、ウーでやってみましょう。

1. 良い姿勢をとります。

この時、50m走、25m競泳などをやるつもり。

腹筋なども軽く引き締めます。運動をするので、

お尻の穴など、しっかり締めておくことが肝心です。

歌うということは、運動です。

2. sing [sɪŋ]の時に使った、口蓋の後部のブニブニした部分に、舌の両側面を軽くあて、ウーと発声してみましょう。

接続をはずしたり、場所をいろいろ試してみます。

口蓋全体を響かせることができれば、声ものびやかになるでしょう。

時間があれば、アー、イー、などでもトライしてみます。

3. 先ほどのキーボードにアクセス、1番左のCキーを押し、その音と同じピッチの音を出します。

以下、使う音は、

C, D, E, G, A, C1

です。このアルファベットを見てどんな音がするのか記憶します。

C1は、Cより1まわり高い音ですが、振動数は正確に2倍になっています。

なので、音としては、5つです。それで、この組み合わせのことを、

ペントニックと呼びます。

5つの音を駆使して並びを整え、声の練習をしてください。

以上で、ステージ3 発声練習その1、は終了です。

# lyrics

課題曲を選ぶ。

1965年のグラミー賞、ベスト ソング オブ ザ イヤーを獲得した名曲、ザ シャドー オブ ユア スマイルに挑戦します。

名うての名歌手たちが録音しており、参考になるものが沢山あります。

最初の4小節の歌詞は、

The shadow of your smile

When you have gone

IPA発音記号では、以下のようになります。

[ðə] [ˈædəʊ] [əv] [jər] [smáɪl]

[wén] [júː] [həv] [gəʊːn]

一つ一つを注意ぶかく見て行きます。

米国のプロの歌手も同様の作業で、言葉をどのように表現するか検討するので、同じだ、と思えば、苦にならないでしょう。

# the

## 1. the[ðə]

/ð/ 舌は、歯と歯の間に挿みませんが、

より上の歯と接触している感じ。

これで発音すると、

舌の表面と上歯の先端で、ズーのような音が出る直前に、

/ə/が指定するポジションに移行します。

それで、結果的に音が出ます。

/ə/ 舌はセンター位置。あごは、やや下げる。

あいまい母音と云われているもので、

強調されない感じ。

シャドウの発音。

---



## 2. shadow[ʃædəʊ]

/ʃ/ 舌の先端、側面を口蓋につけ、蒸気の出るような音。

くちびる少し丸め、突き出す。程度はコンテキスト依存。

声帯は、振動させる。

咽頭は閉じられるので、音は殆ど出ない、シー。

shoe[ʃu:]

fishing[ˈfɪʃɪŋ]

wish[wɪʃ]

/æ/ aとeがくっついたようなシンボル。

日本語の'ア'と'エ'の間。

カエルがつぶれたような音。

舌は、前方、低め、下歯の後ろに配置。

他のフロント母音より、下あごを下げる。唇は丸めないが、引く。

at[ət, ((強))æt, æt]

glass[glæs | glaːs]

/d/ 舌の先端、両側は歯茎に接する。

deer[díər] シカ

radar[ˈreɪdɑːr]

bleed[blíːd] 出血する

これはストップ型なので、溜めてからポンと一気に出す感じが、

欲しいところですが、ギクシャクしてしまうので、練習が必要。

ちなみに、/d/の無声音型がt/。

/o/ 舌は後方だが、uより低め。咽頭を少し締めることで、ウが出てくる。

下あご、やや下がる。

over[ˈóuvər]

boat[bóut]

hello[helóu, hæ-, hélou]

/u/ 舌を自然な位置から、後方に高く移動させ、臼歯に接触させる。

drew[drúː]

オブの発音。

---



### 3. of[əv]

/ə/ 舌はセンター位置。あごは、やや下げる。

あいまい母音と云われているもので、自然な感じでいきます。

/v/ 上の歯で唇の内側部分を触れて音の流れを止める。

舌の位置はコンテキストにより、変化する。声帯をビブラート。

音は殆ど出ない。モーターが回るような音。つまり摩擦音が出る。

voice[vɔ'is]

waiver[wéiver] 権利放棄

above[əbʌ'v]



#### 4. your[jə]

/j/ 舌は、前方高い位置、/i/と同じ位置、  
始まりは、母音のように、緩めに。  
そこからもう少し緊張させる。  
そしてオープンな位置に移動、  
なのでこれは、グライド型といいます。  
唇の形はコンテキストにより、変化する。  
声帯は、内旋、ビブラート。  
咽頭は閉じられる、イヨッみたいな音。

yellow[jélou]

opinion[əpínjən]

nで舌をつく。そこから高く。

始まりは、前方高い位置を忘れないように。

/ə/ 舌はセンター位置。あごは、やや下げる。  
あいまい母音と云われているもので、  
自然な感じでいきます。

/r/ 舌をこぶのようにして持ちあげ、口蓋の固い部分に近づける。

唇はそれほど丸めない。

声帯は、ビブラート。

rope[róup]

baron[báerən]

far[fa':r]



## 5. smile[smáil]

/s/ 舌を舟底にして上の歯茎の固い部分と接触させ、この溝部分をオープン。

舌の先端は、上の歯の背後で、上がるか下がるかする。

唇の状態はコンテキストにより、変化する。

声帯は、ビブラート。音は殆ど出ない。スー。

soap[sóup] assume[əsú:m | əsjú:m] miss[mís]

/m/ 唇は閉じる。

舌の位置はコンテキストにより、変化する。

声帯は、ビブラート。 咽頭はオープン、鼻音を出す。ウーム。

mask[mæsk | mɑ':sk] amount[əməunt] calm[kɑ':m]

これは、鼻音なので鼻から抜きますが、

ここでは、歌なので、迅速に。

'マ'というような音が出る時には、

既に抜きの作業は、ほぼ終了しているようにします。

/a/ フロント型だが、舌は少し後ろ、低め、先端は下歯の後ろ。

下あごは少し下げめ。程度はコンテキストによる。

唇は丸めない。アメリカではカエルで代用。

path[pæθ | pɑ':θ]

/i/ 舌は、前方高め、先端は、下歯の後ろに置く、

唇左右に引く、声帯バイブレート。音は少し長めに出す。

eat[í:t] week[wí:k] tree[trí:]

// 舌の先端を歯の少し上の口蓋のセンターにつける。

唇の形はコンテキストにより、変化する。

声帯は、ビブラート。

late[léit] balloon[belú:n] fall[fɑ':l]

The shadow of your smile まで、走破できました。

これは、熟語みたいなもので、(あなたの)笑み、微笑みを意味します。

なので、これ全体を一息で歌うことになります。

これにて、ステージ4 歌詞の発音チェック その1。は、終了です。

## ステージ5 歌詞の発音チェック その2。

---

When you have gone の発音を練習します。



### 1. when[wén]

/w/ 舌は 後方高い位置、これは/u/ と似た位置。

グライド型なので、始まりはやや緩い、

それから、やや緊張させる。

唇丸く、突き出す。

そして緊張を解いて、オープンにし、次の母音に備える。

声帯はビブラートさせる。ウワみたいな音。

wish[wíʃ]

awhile[əhwáil | əwáil]

最初の位置で、舌を後方に置くこと。

/e/ 舌は、前方高め、先端は、下歯の後ろに置く、サイドは歯に接する。

下あごを少し持ち上げ、引く。

eight[éit]

locate[lóukeit]

ballet[bæléi]

/n/ 舌の先端、側面を口蓋の前方部分に水平につける。

つまり、歯茎の少し上をベロで突く。

唇の状態はコンテキストにより、変化する。

声帯は、ビブラート。鼻音を出す。ヌー。

knob[nɑ'b | nɔ'b]

pin[pín]

ユーとハブの発音。

---



## 2. you[jú:]

/j/ これは、your で練習しました。

舌は、前方高い位置、/j/と同じ位置、もう少し緊張させる。

そこからオープンな位置に移動。

/u/ 舌を自然な位置から、後方に高く移動させ、臼歯に接触させる。

少し長めに。



## 3. have[həv]

/h/ 無声音。グロータル型。

唇、舌の状態はコンテキストにより、変化する。

咽頭は閉じられるので、音は殆ど出ない。

ハッと息を吹きかけるような感じ。

次の母音で音が出る。

happy[hæpi]

greyhound[gréiháund]

/ə/ これもすでに登場しています。

舌はセンター位置。あごは、やや下げる。あいまい母音。

'ア'と'エ'の間のような感じ。

/v/ これもすでに登場しています。

上の歯で唇の内側部分を触れて音の流れを止める。

声帯をビブラート。

咽頭は閉じられるので、音は殆ど出ない。

モーターが回るような音。つまり摩擦音が出る。

ゴーンの発音。

---



#### 4. gone[ɡɔːn]

/g/ 舌の背を歯茎の上、つまり口蓋の固い部分、又は、ソフトな部分にはめる。

この時、gaみたいな音が少し出る。

goose[ɡúːs] ガチョウ

ago[əɡóu]

flag[flæég] 旗

/ɔ/ 舌は後方、高さは中よりやや低い。

下あごちょい下げ。

唇丸くするが、u,o より少なめ。

all[ɔːl]

hall[hɔːl]

jaw[dʒɔː]

/n/ 舌の先端、側面を口蓋の前方部分に水平につける。

唇の状態はコンテキストにより、変化する。

声帯は、ビブラート。

咽頭はオープン、鼻音を出す。ヌー。

knob[nɔːb | nɔːb]

pin[pín]

以上で

ステージ5 歌詞の発音チェック その2。

は、終了です。



参考とするGigiの歌を聴きます。2テイクありますので両方聴いて下さい。

<http://www.youtube.com/watch?v=XEwHiJ2Cnsc&feature=related>

<http://www.youtube.com/watch?v=fJNwT9i1zkE&feature=related>

## ステージ7 歌詞の発音チェック その3。

---

目標が明確になったので、さらに前進します。

Will colour all my dreams

And light the dawn.



### 1. will[wəl]

全部登場したものばかりです。

/w/ 舌は 後方高い位置、唇丸く、突き出す。

そして緊張を解いて、オープンにし、次の母音に備える。

声帯はビブレートさせる。

咽頭は閉じられる、ウワみたいな音。

/ə/ 舌はセンター位置。あごは、やや下げる。あいまい母音。

'ア'と'エ'の間のような感じ。軽く。

// 舌の先端を歯の少し上の口蓋のセンターにつける。

声帯ビブレート。

舌の両サイドを風が抜けて行く感じ。

カラーの発音。

---



## 2. colour[kʌ'ləɹ]

/k/ 舌の背を歯茎の上、固い部分、又は、ソフトな部分にはめる。

この時、無声音なので、音は出ない。

cow[kəʊ]

peeking[pi:kɪŋ]

wake[weɪk]

/ʌ/ 舌はセンター位置。あごは、やや下げる。文脈で変化する。

under[ʌ'ndəɹ]

sun[sʌ'n]

but[bət ; ((強))bʌ't]

// 舌の先端を歯の少し上の口蓋のセンターにつける。

/ə/ 舌はセンター位置。あごは、やや下げる。あいまい母音。

/r/ 舌をこぶのようにして持ちあげ、口蓋の固い部分に近づける。

その舌の上を風が通る感じ。

カラーのスペルは、いつもは、'color'ですが、ここでは、  
歌詞なので、少しおしゃれに、'colour'となっています。

オールとマイの発音。

---



3. all[ɔːl] どちらも登場済み。

/ɔ/ 舌は後方、高さは中よりやや低い。下あごちょい下げ。

唇丸くするが、u, o より少なめ。

// 舌の先端を歯の少し上の口蓋のセンターにつける。



4. my[má]

/m/ 唇は閉じる、鼻から少しだけ抜く。

/a/ 複合タイプ

舌は、後方低めから、前方やや高めに動かしていく。

あごは開いた位置から閉じて行く。

唇丸めない。

aisle[áil]

mine[máin]

try[trái]



#### 5. dreams[dri:ms]

/d/ ストップ型、

舌の先端、両側は歯茎に接する。

/r/ 舌をこぶのようにして持ちあげ、口蓋の固い部分に近づける。

その舌の上を風が通る感じ。

/l/ 舌は、前方高め、先端は、下歯の後ろに置く、唇左右に引く。少し長めに。

/m/ 唇は閉じる、鼻から少しだけ抜く。

/s/ 舌を舟底にして上の歯茎の固い部分と接触させ、この溝部分をオープン。

舌の先端は、上の歯の背後で、上がるか下がるかする。



#### 6. and[ænd]

/ə/ 舌はセンター位置。あごは、やや下げる。あいまい母音。

'ア'と'エ'の間のような感じ。軽く。

/n/ 舌の先端、側面を口蓋の前方部分に水平につける。

つまり、舌で歯茎を突く。

/d/ ストップ型、舌の先端、両側は歯茎に接する。



7. light[laɪt]

/l/ 舌の先端を歯の少し上の口蓋のセンターにつける。

/a/ フロント型だが、舌は少し後ろ、低め、先端は下歯の後ろ。  
下あごは少し下げめ。

/l/ 舌は、前方高め、先端は、下歯の後ろに置く、  
唇左右に引く。

/t/ 無声音。舌の先端、両側は歯茎に接する。/d/と同じ。  
舌を下げると圧迫は解放される。



8. the[ðe] すでに登場済み。

/ð/ 舌は、歯と歯の間にはさむ。

舌の表面と上歯の先端で、ズーのような音が出る直前に、

/e/が指定するポジションに移行します。それで、結果的に音が出ます。

/e/ 舌はセンター位置。あごは、やや下げる。



9. dawn[dɔːn]

/d/ ストップ型、舌の先端、両側は歯茎に接する。

/ɔ/ 舌は後方、高さは中よりやや低い。下あごちょい下げ。  
唇丸くするが、u, o より少なめ。

/n/ 舌で歯茎を突く。

これで、ステージ7 歌詞の発音チェック その3。

は終了です。

## ステージ8 歌詞の発音チェック その4。

---

発音の練習を続行します。

Look into my eyes, my love, and see

All the lovely things you are to me.

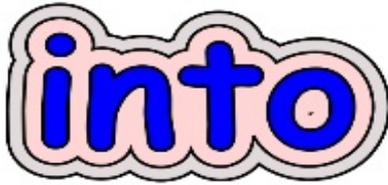


### 1. look[lu:k]

/l/ 舌の先端を歯の少し上の口蓋のセンターにつける。

/u/ 舌を自然な位置から、後方に高く移動させ、臼歯に接触させる。

/k/ 舌の背を歯茎の上、固い部分、又は、ソフトな部分にはめる。無声音なので、音は出ない。



### 2. into[ɪntu]

/ɪ/ 舌は、前方高め、先端は、下歯の後ろに置く、唇左右に引く。

/n/ 舌の先端、側面を口蓋の前方部分に水平につける。つまり、舌で歯茎を突く。

/t/ 無声音。舌の先端、両側は歯茎に接する。/d/と同じ。

舌を下げると圧迫は解放される。

/u/ 舌を後方に高く移動させ、臼歯に接触させる。



### 3. my[máɪ] 登場済み。



### 4. eyes[áiz]

/a/

/ɪ/

/z/ 舌を持ち上げ、舟底にして上の歯茎の固い部分と接触させ、

この溝部分をオープン。形は/s/と同じ。

マイ ラブ アンド シーの発音。

---



5. my[mái]



6. love[lʌ'v]

/l/ 舌の先端を歯の少し上の口蓋のセンターにつける。

/ʌ/ 舌はセンター位置。あごは、やや下げる。

/v/ これもすでに登場しています。

上の歯で唇の内側部分を触れて音の流れを止める。

声帯をビブラート。

モーターが回るような音。つまり摩擦音が出る。



7. and[ænd]



8. see[sí:]

/s/ 舌を舟底にして上の歯茎の固い部分と接触させる。

/i/ 舌は、前方高め、先端は、下歯の後ろに置く。唇左右に引く。

オール ザ ラブリー シングスの発音。

---



9. all[ɔːl]



10. the[ðə]



11. lovely[ɪˈvli]



12. things[θɪŋz]

/θ/ 舌は、上の歯のすぐ下、又は、  
上の歯の後部と接触させる。/ð/と同じ。  
唇の状態はコンテキストにより、変化する。  
咽頭は閉じられるので、音は殆ど出ない。

thing[θɪŋ]

toothbrush[túːθbrʌʃ]

with[wəð, wəθ ; ((強))wɪð, wɪθ]

/l/ 舌は、前方高め、先端は、下歯の後ろに置く。唇左右に引く。

/ŋ/ 舌を持ち上げ、口蓋の後方のソフトな部分につける。

唇の形はコンテキストにより、変化する。

声帯はビブラート。鼻音を出す。

/s/ 舌を舟底にして上の歯茎の固い部分と接触させ、この溝部分をオープン。

舌の先端は、上の歯の背後で、上がるか下がるかする。

咽頭は閉じられるので、音は殆ど出ない。スー。

ユー アー トゥー ミーの発音。

---



13. you[jú:]

/j/ 舌は、前方高い位置、/i/と同じ位置、もう少し緊張させる。

そこからオープンな位置に移動。

/u/ 舌を自然な位置から、後方に高く移動させ、臼歯に接触させる。



14. are[er]



15. to[tú]



16. me[mí:]

かなり同じものが登場するようになって、楽になってきました。

ステージ8 歌詞の発音チェック その4。

は終了です

ステージ9 歌詞の発音チェック その5。

---

すでに登場したものが大半なので、一気に最後まで練習します。

Our wistful little star

Was far too high.

A teardrop kissed your lips,

And so did I.

Now that I remember spring,

All the joy that love can bring

I will be remembering

The shadow of your smile.



our[áuə̃r ; ((弱))ɑ:r]



wistful[wístfəl]



little[lítl]



star[stɑ':r]

ワズ ファー トゥ ハイの発音。

---



was[wəz ; ((強))wʌ'z, wɑ'z | wɔ'z]



far[fa':r]



too[tú:] 'tは無声音。



high[hái]

ア ティアドロップ キisst ユア リップスの発音。

---

A large, stylized letter 'A' with a pink-to-purple gradient fill, a yellow outline, and a grey drop shadow.

a[ə]

The word 'teardrop' in a bubbly, rounded font with a yellow-to-cyan gradient fill, a yellow outline, and a grey drop shadow.

teardrop[tiədrɒp]

The word 'kissed' in a bubbly, rounded font with a pink-to-cyan gradient fill, a yellow outline, and a grey drop shadow.

kissed[kíst]

The word 'your' in a bubbly, rounded font with a yellow-to-cyan gradient fill, a red outline, and a grey drop shadow.

your[jə]

The word 'lips' in a bubbly, rounded font with a pink-to-cyan gradient fill, a yellow outline, and a grey drop shadow.

lips[líps]

アンド ソー デイド アイの発音。

---



and[ænd]



so[sóu ; ((弱))sə]



did[díd]



I[ái]

ナウ ザット アイ リメンバー スプリングの発音。

---



now

now[náú]



that

that[ðæt]



I

I[áí]



remember

remember[rímémbər]



spring

spring[sprín]

オール ザ ジョイ ザット ラブ キャンの発音。

---



all[ɔːl]



the[ðə]



joy[dʒɔɪ]

/dʒ/ 舌の先端、側面を口蓋の前方に水平につける。

唇の状態はコンテキストにより、変化する。

咽頭は閉じられる、ジュミたいな音。舌を下におろす事でこの音が出る。

job[dʒɔːb | dʒɔɪb] badger[bædʒər] アナグマ。 cage[kéidʒ]



that[ðæt]



love[lʌv]



can[kən][kæn]



ブリング アイ ウィル ビー リメンバリングの発音。

---



bring[brɪŋ]

/b/ 唇閉じる。

ball[bɔːl]

taboo[təbuː]



[áɪ]



will[wəl, əl, l ; ((強))wɪl]



be(((弱))bi ; ((強))bí:]



remembering[rɪmɛmbərɪŋ]

the[ðə] shadow[ˈædəʊ] of[əv] your[jɜr] smile[smáɪl]

これで歌詞の発音チェック、完了しました。

ステージ9 歌詞の発音チェック その5。終了です。



<http://www.youtube.com/watch?v=XEwHiJ2Cnsc&feature=related> にアクセス。  
一緒に歌います。

[áɪ] [wɪl] [bi] [rɪmɛmbərɪŋ]

[ðə] [ʃædɔu] [əv] [jɜr] [smáɪl]

[ðə] [ʃædɔu] [əv] [jɜr] [smáɪl]

[wén] [jú:] [həv] [gɔ':n]

[wəl] [kɹ'lɜr] [ɔ':l] [máɪ] [drí:ms]

[ənd] [láit] [ðə] [dɔ':n]

[lúk] [ɪntu] [máɪ] [áiz] [máɪ] [l'v] [ənd] [sí:]

[ɔ':l] [ðə] [l'vli] [θɪŋs] [jú:] [ɜr] [tú] [mí:]

[ɑ:r] [wɪstfəl] [lít] [stɑ':r]

[wəz] [fɑ':r] [tú:] [háɪ]

[tíər-dro'p] [kíst] [jɜr] [líps] [ənd] [sóu] [díd] [áɪ]

[náu] [ðǽt] [áɪ] [rɪmɛmbər] [sprín]

[ɔ':l] [ðə] [dʒɔ'i] [ðǽt] [l'v] [kǽn] [brín]

[áɪ] [wɪl] [bi] [rɪmɛmbərɪŋ]

[ðə] [ʃædɔu] [əv] [jɜr] [smáɪl]

## ステージ 1 1 発音の問題点。

---

誰もが考えるのは、

舌の位置など、今まで殆ど気にしていなかったのに、

どこまで出来るのか、という疑問です。

そして、ちゃんとやれているのかよく分からないということです。

日本語には、'イ' 'ウ' 'エ' 'オ' 'ア' という母音があります。

なので、これを使って舌の位置の練習をします。

1. 'ア'の時の、口の開き具合は、他の母音より、大きくした方がクリアーな発音になる。
2. 舌の位置を、Front、Mid、Backとした時、ミッドは自然な音になる。
3. 舌の高さを、High、Mid、Lowとした時、ミッドだと、'エ'を云い易い。

	舌前	舌中	舌後ろ	
舌高い	'イ'		'ウ'	口開き小
舌中	'エ'		'オ'	口開き中
舌低い			'ア'	口開き大

全部同じ場所で発音出来ちゃうなどと云わずに、

懸命に舌のふくらみを作ってそれを移動させる努力をして下さい。

ひとしきり練習していると、'ウ' 'オ' 'ア' 'オ' 'ウ'

とした時、いつものカタカナとは異なる負荷、音などを感じると思います。

この5ポジションを実感できるようにします。

口の形を変えるのではなく、舌の場所を変えることで、音が変わる感じを掴みます。

'エ'を発音していて、舌の高さを変えると、音も変化すること、体感してください。

さて、'エ'を出して、次に、'オ'を出し、舌の位置を中間に戻して音を出します。

この音に、シンボル/ə/をあたえます。

	舌前	舌中	舌後ろ	
舌高い	'イ'		'ウ'	口開き小
舌中	'エ'	/ə/	'オ'	口開き中
舌低い			'ア'	口開き大

リストにIPAのシンボルを加える。

---

リストにIPAのシンボルを加えていきます。

'エ'の音に、舌の先端を歯の裏につけ、あごを少し下にさげます。

この音に/æ/のマークを与えます。

音は、例のカエルです。

/ə/の音に対して、口の開きを少し大きくします。

音の印象は、素直な'ア'という感じです。

これに'V'の逆さまのマークを与えます。

この2つを書き込むと、

	舌前	舌中	舌後ろ	
舌高い	'イ'		'ウ'	口開き小
舌中	'エ'	/ə/ /ɜ/	'オ'	口開き中
		/ʌ/		
舌低い	/æ/		'ア'	口開き大

このようにしてどんどん追加していきました。

そして、16ヶほどになりました。

	舌前	舌中	舌後ろ	
舌高い	/i/		/u/	口開き小
	/ɪ/		/ʊ/	
舌中	/e/	/ə/ /ɜ/	/o/	口開き中
	/ɛ/	/ʌ/	/ɔ/ /ɒ/	
舌低い	/æ/	/a/ /ɑ/	/ɑ/	口開き大

まとめます。

1. 日本語の母音を、舌の位置を意識して発音。
2. 練習していると、筋肉も開発され、できるようになる。
3. 時間をかけ、少しずつ練習。



英語の歌を練習するときの手順をまとめます。

発音チェックの手順

1. 歌いたい曲が決まったら、歌詞カードを見つける。
2. 歌詞にある単語のIPAを、コピー。 <http://dictionary.goo.ne.jp/ej/> などから得る。
3. IPAの発音を練習。
4. 歌に合わせて練習。
5. 歌い方で気をつける事は、声に芯をつけること。

外国の歌手で、芯のない声で歌う人はまずいません。

なので、模範にする歌が外人であれば、だいじょうぶです。